

全国養護教諭連絡協議会 第15回研究協議会 参加報告

平成22年2月26日(金) メルパルクホール



全国養護教諭連絡協議会

第15回

研究協議会



日時 平成22年2月26日(金)
会場 メルパルクホール

全国養護教諭連絡協議会



《新潟県からの参加者》

新潟市立宮浦中学校

上越市立直江津東中学校

胎内市立築地小学校

久保田紀子

保坂 裕子

菅原 菊子

糸魚川市立糸魚川東中学校

新潟市立丸山小学校

上越市立上杉小学校

町田 範子

巻内 尚子

横田美佐江

開会のあいさつ 祝 辞	全国養護教諭連絡協議会長	水戸俊子
	文部科学大臣	川端達夫
特別講演	全国連合小学校長会長	向山行雄
	財団法人日本学校保健会会長	唐澤祥人
講演	「夢と人生」	
	元オリンピック女子ソフトボール監督	宇津木 妙子
フォーラム	「学校保健安全法等から見る養護教諭の役割」	
	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官	采女 智津江
コーディネーター	愛知教育大学教授	後藤 ひとみ
シンポジスト	群馬県高崎市立六郷小学校 校長	山口 堅 二
	静岡市立城内中学校 学校薬剤師	秋山 欣 三
	熊本市立桜木小学校 養護教諭	桑田 奈津子

《特別講演》

- ・ 夢（目的・目標）を持って生きよう！
- ・ チームづくりが人づくりにつながる。あいさつ、礼儀、当たり前のルールを教え、元気をアピールしていこう。子どもの本音と向き合いながら育てていこう。（記録にとどめる）
- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」で、子どもじゃない“人”をじょうずに育てていこう！

《講演》

「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取り組みを進めるための方策」（中教審答申）を受けて、学校保健法が改正され、養護教諭への期待が高まっている。

- ① 学校内及び地域の医療機関との連携を推進する上でコーディネーターの役割
- ② 養護教諭を中心として関係教職員等と連携した健康相談、健康観察、保健指導の充実
- ③ 学校保健センター的役割を果たしている保健室経営の充実（保健室経営計画の作成）
- ④ いじめや児童虐待など子どもの心身の健康問題の早期発見、早期対応
- ⑤ 学級活動における保健指導をはじめ、TTや兼職発令による保健学習などへの積極的な授業参画

《フォーラム》

- (1) 後藤教授のアドバイスから
養護教諭は、「コーディネート」によってつながり、「省察」によって向上する職である。
 - ① 他職種と協働し、「コーディネート」する能力
 - ② 保健室経営計画に基づく、保健室という立場の機能を生かした「保健室経営」の能力
 - ③ “研究的実践”と“実践的研究”を充実させ、経験値を広める「研究」の能力
- (2) 山口校長の実践から
 - ・ 学校保健委員会を中心に健康教育を推進し、学校経営の基盤をなしている。
 - ・ 各活動が組織的に行われることにより、児童や家庭に大きな影響を与え、自分の健康は自分で守る児童の育成につながっている。
- (3) 秋山薬剤師の実践から
 - ・ 学校薬剤師が学校内外で活動するためには学校長の理解のもと、教職員と協力し合う必要がある。養護教諭と真っ先に連携していかないと、職務が全うできない。
- (4) 桑田養護教諭の実践から
 - ・ 「自分だけが一生懸命になったり抱え込んだりするのではなく、周りを巻き込み同じ目的に向かって連携し合い学校全体で取り組めるようにすること」こそが、「中核的役割」である。
 - ・ 子ども達に寄り添いながら見えてきた課題や情報を発信し、子ども達を取り巻く全ての者と共有して共通実践するという取組をさらに推進していく。